

江戸川女子中学・高等学校 90周年事業への取り組み

①新教室棟の新設

高校の最終学年生徒が、学校生活の総仕上げを行う場となることを目指して、現在令和4年2月の竣工に向けて建築中です。将来を考え、落ち着いて自分と向き合う場所となる空間を作るようにしています。また、来年度より18歳で成人を迎える最終学年の生徒が学校生活を送るのにふさわしい校舎の建築をコンセプトにしています。



新校舎イメージ図

新校舎には一般教室・分割教室・自習室・面談室・くつろぎの空間・職員室を用意しています。新教室棟の自習室は6年生専用であり、本館にある自習室は全学年の希望者が使用可能となります。新教室棟の完成により、本校舎等にできる空き教室は演習室や多目的で利用できる空間になり、全学年の教育活動に寄与します。

②教育課程の変更

令和4年に入学する学年より高校の新教育課程が開始されます。本校では次年度より「45分授業」の導入を行い、より効果の上がる教育を実践してきます。今年度までの65分授業は平成6年より開始し、現在まで教育効果を上げてきましたが、45分授業展開ではこれまで以上の成果を求めての変更となります。

1コマの授業では標準時間50分より短くなる代わりに、1コマごとの集中力が上がることを期待しています。学年及び教科により違いがありますが、「45分単独授業」及び「2コマ連続の90分授業」の組み合わせにより65分単独授業より効果のあがる授業展開を行うことが可能となります。

[中学教育課程のページへ](#)

[高校教育課程のページへ](#)

③新制服の採用

次年度入学者より新制服を着用していただきます。中学は昭和63年度、高校は平成元年度より現行の制服となっております。90年目の節目に合わせ、これから先の本校の方向性を考えた上での新制服の採用となりました。生徒・保護者及び教職員の意見を取り入れ、一番採用希望の高い制服を採用致しました。

[制服紹介のページへ](#)